

帰国報告書

北海道教育大学岩見沢校

芸術課程 美術コース 書専攻 4年

氏名 越浦 一葉

留学先国名 中華人民共和国

大学名 山東師範大学

「留学を通して感じたこと」

私は2013年の9月から約10か月、中国の山東省に留学をしました。書道の本場、中国で様々な石碑を見たい、中国の書道に触れてみたいという思いや、文化の違いを学びたいという理由から留学を決めました。留学に行く直前、中国では反日活動が行われたり、PM2.5が問題になったりと、親の反対が強く一時は留学を諦めたこともありましたが、何とか親を説得して留学させてもらうことが出来ました。留学をして学んだことは多かったですし、留学で得たものはやはり日本では得ることのできないものばかりで、留学を終えた今では本当に留学をすることが出来て良かったと思っています。

留学の思いは強かったものの、私の語学レベルはとても低かったため、現地での生活にはとても困りました。食事や買い物、ルームメイトとの交流など、今思うとよくあのレベルで中国に行ったものだ…と思います。中国語の授業は初級コースから上級コースまであり、自分にあった授業を受けることができました。授業の他には中国人の友達を作り、中国語を教えてもらったり、なるべく外に出て中国語を聞いたり中国語に触れる機会を多くつくるよう心掛けました。中国語の上達とともに、中国の生活にも慣れていきました。日本とは違う文化や習慣ばかりで驚きを隠せない日々を過ごしていましたが、だんだんと慣れていく自分が怖くもあり心地よくもありました。しかし、それでも想像できないような経験を味わうことはたくさんあって、毎日が新鮮で刺激的でとても充実していました。日本には学べない、中国の実態を目で見て、感じる事が出来たと思います。

また、中国人だけではなく他の国の留学生ともたくさん交流しました。私は留学生寮に住んでいたため、部屋を出るといろいろな国の留学生と交流することが出来ます。アジアからアフリカなど、本当に様々な国の人たちがいて、その国の文化なども知ることが出来ました。私は留学期間の間、モロッコ人と一緒に住んでいたため、アラブの文化は本当にたくさん教えてもらいました。時にはお互いに合わないこともありましたが、文化を分かち合い、協力し合ってとても楽しい日々を過ごすことが出来ました。日本にいたらモロッコ人と触れ合う機会なんてなかなかないと思います。モロッコだけではなく、きっと知り合う機会すらない人たちばかりでした。一緒にお話しや食事をして交流を深めることによってその国の人たちの考え方や、日本との違いを学ぶことが出来ました。

また、さすがは中国、様々なトラブルは日常茶飯事でした。初日からのトラブル続きで、

私の精神力や生活力は大幅に向上したと自分でも思います。こうした様々な人との出会いや困難を乗り越えたことで、成長することが出来たのではないかなと思います。日本を出たら、常識なんて通じませんし、当たり前のことも当たり前ではありません。日本を離れて、他の国の文化や考え方を学ぶと同時に、日本の文化の素晴らしさも感じる事ができました。

また、なるべく旅行にも行き、他の地域も自分の目で見ることで、様々な中国を知ることもできました。そしてなにより、私が憧れていた石碑を見て、その時代の書を生で感じる事が出来て大変感銘を受けました。専門である書道の面においても、とてもよい経験をすることが出来ました。

留学で得たものは数えきれません。失敗もたくさんしましたが、その分素晴らしい出会いや経験をすることができました。このような貴重な体験をすることができて心から感謝しています。この気持ちを忘れず、これからの人生に活かしていきたいです。

これから留学する学生へ

どんなことも挑戦することが一番だと思います。勉強も遊びも全力で楽しみ、自分の想像をはるかに超える経験をたくさんしてきてほしいなと思います。日本を離れた時点で、毎日が新鮮で刺激的です。そこをいかに受け入れ、楽しむかで留学の充実感も変わってくると思います。留学に行く前は心配なことがたくさんあるとは思いますが、行ってからなんとかなるものなので、是非自分から行動の範囲を広げていってほしいなと思います。また、時間とお金があるのであれば旅行にたくさん行くこともおすすめします。少し遠くへ行くだけでも全然違った一面が見えると思いますし、それぞれの地域の特徴などを味わうことができ楽しかったです。留学はそう簡単にできるものではありませんが、もし留学を迷っている人がいるならば、是非留学してほしいなと思います。



食事会



クラス会



食事会



書道の授業風景



敦煌



卒業式



学校 北門